

今月のこの1冊

ろばのとしょかん コロンビアでほんとうにあったおはなし  
文と絵 ジャネット・ウィンター  
コロンビアのジャングルの奥に、本を読むのが大好きなルイスさんがいました。読み終わるとすぐに新しい本を買うので、とうとう家は本でいっぱいになりました。奥さんはとても困りました。

そこで、ルイスさんは「遠い山の向こうに本が1冊もない人がいる。そこへ本を届けよう。」と思いつきます。こうして2頭のろばに本を積み、遠い村に出かけることになりました。

動物や植物の色使いが南米らしいカラフルな絵本です。



新着本案内 (主なもの)

★ 一般書 ★  
・「あなたがいる場所」 沢木耕太郎  
・「天魔ゆく空」 真保裕一  
・「もじゃもじゃ」 渡辺淳子  
・「黄昏に眠る秋」 ヨハン・テオリン  
・「神楽坂の仇討ち」 好村兼一  
・「タワーリング」 福田和代  
・「幻想郵便局」 堀川アサコ

★ 児童書 ★  
・「ねこがおどる日」 八木田宜子  
・「ルコちゃんがいく」 間部香代  
・「とくべつなお気に入り」 エミリー・ロッド  
・「きつね、きつね、きつねがとおる」 伊藤遊  
・「ぼくとおおはしくん」 くせさなえ

みんな集まれ！子どもの広場・おはなし会

◇子どもの広場

内容 「パラシュートほう(砲)」をつくります  
日時 6月18日(土) 10:00～  
持ち物 はさみ、サインペン  
対象 5歳(保護者同伴)～  
場所 町民センター2階 小会議室A  
申し込みは直接図書室へ または、☎82-5221

◇おはなし会 (第2土曜日、第3水曜日)

日時 6月11日(土) 10:30～  
6月15日(水) 15:00～  
場所 町民センター3階図書室  
申し込みはいりません

毎月1日は、【開成ファミリー読書デー】  
家族みんなで本を読もう！

● 家庭・地域・学校などでの読書活動を推進するため、開成町では毎月1日を「開成ファミリー読書デー」にし、読書活動の定着・推進を図ります。

\*文芸

俳句

開成町俳句協会  
米寿まで三とせとせと花筏 高野 宗脩  
婚約者つれて来る孫風薫る 遠藤マツエ  
風薫る中学生の駈けて行く 下澤 操子  
遠き日の母の笑顔と茄子の花 遠藤まつ子  
新築の庭の片隅茄子の花 奥津ちわき  
芝田 みち子 選

短歌

大寒の通学路ゆく女生徒の  
ミニスカートを憂ふ老婆心 石井はま江  
耐へるより他に術なき悲しさよ 吉田 志麻  
夫逝きし家に春の雨降る  
骨折しトイレに行かむと這ふ母の 府川ハツエ  
後姿見たり敬老の日に  
自力で這ってでも行動しようとする気丈な母の後姿。作者は、その様子を後姿、主観を一切表していない。それが却って読者に強いインパクトを与え、結句も現実的でより印象深い歌にしている。  
近藤 正臣 選

四月詠

春の雨は、草木の芽を伸ばし、花を咲かせるものであるが、独り住居にしがやかに降り続き、心が晴れない。その状況は、上の句の極めて誇張的な表白によって、作者の寂寥感を一層漂わせている。



ぶらりと歩きながら開成町の文化を発見、歴史を再確認してみませんか。開成町に残る遺蹟を紹介します。



吉田島総合高校



この高校は、地元では吉農(吉田島農林高校の略)の名で親しまれています。吉農は、足柄上郡有志が滋賀県から農業技師を招き、明治四十年(いまから一〇四年前)農業補習学校として榎本の大長寺に開校し、二年後に郡立農林高校となり、現在地に移りました。  
大正十一年、上郡会はいまのお金で一億円をかけて校舎、寄宿舎、実習地を整備し、翌年の郡会廃止で神奈川県に移管され、県立農林高校となりました。  
終戦直後でいまの被災地にも似たつらい時期、グラウンドで行われた郡青年団の町村対抗陸上競技大会は、地域の住民に大きな楽しみと希望をあたえてくれました。昭和四十年、見なれた平屋の校舎が建て替えられ、解体資材は地元の公民館建設に再利用されました。  
吉農の野菜、花などは町内でもおなじみです。いまの校地は東京ドームの一・五倍の広さ、学校祭や学校開放の時には足を運び、他の学校と一味違うところを見てください。卒業生は、農林土木をはじめ各界で活躍中です。校名は変わりましたが、地域のイベントや美化活動を通して、これからも開成町の歴史に名を残す学校として発展していくことでしょう。  
(文責 文化財保護委員会 井上 東亜)



駐在所  
だより  
松田警察署  
延沢駐在所 ☎83-5434  
吉田島駐在所 ☎83-5457

東日本大震災に便乗した詐欺事件が多発しています！

東日本大震災に便乗して、「被災者支援の募金」などと称した詐欺事件が相次いで発生しています。  
募金を求める訪問、電話などがあつた場合は、すぐには振り込まず、相手をよく確認し、詐欺の被害に遭わないように注意してください。  
また、不審な訪問、電話などがあつた場合には、松田警察署までご連絡ください。  
■発生した事例  
・「震災の義援金に替えたので、貴金属を寄付してください」と言つて訪問し、貴金属の提供を受けようとする。  
・公的機関と紛らわしい名称や、市役所・役場などの職員をかたつて電話をかけ、義援金を募つていふと言つて現金を振り込ませようとする。  
・「市の委託を受けて家屋の耐震診断を行っている」「すぐに耐震補強が必要で」などと言つて耐震診断や補強を行い、法外な料金を請求する。  
■被害に遭わないために  
公的機関や団体が、一般家庭に対して個別に電話や訪問をして義援金の振り込みを求めることはありません。  
また、実在する団体を名乗つて個別の働きかけがあつた場合には、その団体がテレビや新聞などで公表している口座番号・名義と同一であるかを確認してください。  
少しでも怪しいと感じたら、決して振り込まず、松田警察署までご連絡ください。